

辛酉正月

# 定静堂

王壯為

常設展

## 中国絵画 の精華

魅力あふれる定静堂コレクション



2024年12.8日～2025年2.2日

【休館日】月曜日

(ただし1月13日[月・祝]は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月28日[土]から1月4日[土])

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【入館料】一般500円、高・大生300円、中学生以下無料

※団体(有料入館20名以上)、65歳以上は2割引 ※各種障がい者手帳等を提示された場合、本人と介助者1名無料



和泉市久保惣記念美術館

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 <https://www.ikm-art.jp>

ホームページ

くぼそう

検索

図版:〈上〉王壯為 行書「定静堂」、〈下〉黄財松「林家花園図」(部分)



はしむねたけ

実業家で中国書画のコレクター林宗毅氏(1923~2006)から平成12年(2000年)に近代中国の書画411点が和泉市に寄贈されました。林氏による寄贈は当館にとどまらず、台湾の国立故宫博物院、東京国立博物館を入れて三ヶ所にのぼります。寄贈品は、中国唐時代から宋元時代までの書画は国立故宫博物院、宋元時代から清時代までは東京国立博物館、清時代から近現代までは当館というように館ごとの所蔵品内容を考慮して、寄贈する作品が活用しやすいように時代や内容を選別した寄贈である点に特徴があります。

当館では三十点余りしかなかったこのジャンルの作品が、豊富な画題を持ち、優れた完成度を示し、さらにまとまった点数で収蔵品に加わったことにより、当館のコレクションの規模が拡大しました。この寄贈によって、中国商(殷)時代の

青銅器や清時代の陶磁器などからなる中国の古代から近世にわたる当館の工芸コレクションに、近代絵画によって新しい息吹が与えられることになりました。絵画や書は工芸とジャンルが異なるものの、広い視点で美術を捉えると、工芸も書画も造形という同じ分野に取まります。近代中国絵画は当館に古代から近代、それだけにとどまらず現代へと通じる造形の道も示しています。

林宗毅氏からの寄贈になる近代中国書画は、「定静堂コレクション」として、寄贈以来定期的に展示を続けてきました。寄贈から四半世紀を迎える時期にあたり、このコレクションの特徴でもある多くの画家による豊富な画題の作品から、49点を選び一部展示替えしながら陳列します。

定静堂コレクションの清々しく、華やかな作品をお楽しみください。



1

2

4

5

### 主な展示品

- 黄 財松「林家花園図」(表面下)
- 王 壯為 行書「定静堂」(表面上)
- 江 稼圃「秋高泉声図」(2)
- 王 一亭「菊花瓦雀図」(4)
- 齐 白石「柿實図」(5)
- 徐 悲鴻「大鵬図」(1)
- 康 未子「牧猪図」(3)



3

### スライドレクチャー

12月22日(日)、1月18日(土)  
いずれも午後2時より、スライドを使った  
展示解説を行います。(開場は午後1時30分)

スライドレクチャー、ミュージアムコンサートはいずれも久保記念ホール(音楽ホール)で行い、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より入館シートご提示の方に配付する整理券が必要です。なお、先着120名様で入場制限を行います。全席自由席。内容については美術館までお問い合わせください。

常設展「中国絵画の清華 魅力あふれる定静堂コレクション」は美術館・本館で開催します。新館では、古代の青銅器などの中国工芸品と、西洋近代美術を展示します。本館の展示とあわせてご覧いただけます。

### ミュージアムコンサート

[開場]午後1時30分 [開演]午後2時(全日共通)  
[開催日]12月8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、1月11日(土)、12日(日)、19日(日)、25日(土)、26日(日)、2月1日(土)、2日(日)

## 和泉市久保記念美術館

公式エックス/インスタグラムはこちら  
展示会のお知らせ、見どころや作品紹介など、美術館のさまざまな情報を発信しています。



### 交通案内

#### ●電車の場合

- ・東北高速鉄道「和泉中央」駅下車、南海バス①⑨乗り場より①「美術館前」|「松尾寺」行、⑨「春木川」|「若樫」行乗車(約10分)、バス停「美術館前」下車すぐ
- ・JR阪和線「和泉府中」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」|「若樫」行乗車(約30分)、バス停「美術館前」下車すぐ
- ・南海本線「泉大津」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」|「若樫」行乗車(約40分)、バス停「美術館前」下車すぐ

#### ●車の場合

- 阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分(無料駐車場有)

美術館の入館料、図録・グッズの支払いに、現金決済に加えてクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済手続きが可能です。

### 【主な決済ブランド】



### スマホコード